

ESD 持続可能な社会の構築に向けた”人”の育成を目指して  
津山圏域クリーンセンターでの学び

M E S S A G E

ESDは、Education for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む(think globally, act locally)ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。

ここ、津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザでは環境問題を入り口として、持続可能な社会について学び、そして自分事として行動していく人の育成を目的としています。本プログラムでは小学4年生向けの内容をご提示しましたが、他にも多様な学びができます。ぜひ、当施設をご利用ください。

エコロジカル・フットプリント

「生態系への足あと」の意味で、私たちが生活するのに、どのくらい地球の生物資源を消費しているかを面積で表したもの。必要な食べ物、木材、エネルギーなどをつくり出すために地球何個分を消費する、というかたちで表す。



世界中の人々が日本人のような暮らしをすると、地球2.4個分の資源が必要になります。つまり、日本人は現在の消費のスケールを2分の1以下にすることが求められます。



津山圏域クリーンセンター・リサイクルプラザ

お問い合わせ先

〒709-4611 津山市領家1446番地  
TEL (0868) 57-0153 FAX (0868) 57-2226 <http://www.replaza.jp/>  
開館時間/9:00~16:00 休館日/月曜日

このパンフレットは「平成28年度 地域の環境教育・学習施設でのESD実践拠点支援事業」の支援により作成しました。

環境省 中国四国地方環境事務所・中国環境パートナーシップオフィス  
協力：津山市環境福祉部低炭素都市推進室、津山市教育委員会、鏡野町教育委員会、勝央町教育委員会、奈義町教育委員会、美咲町教育委員会、NPO法人エコネットワーク津山



この印刷には環境にやさしい植物油インキを使用しています。

環境学習のご案内



「みんなの誓い」



津山圏域資源循環施設組合  
津山圏域クリーンセンター・リサイクルプラザ





# 環境学習の拠点「津山圏域クリーンセンター・リサイクルプラザ」

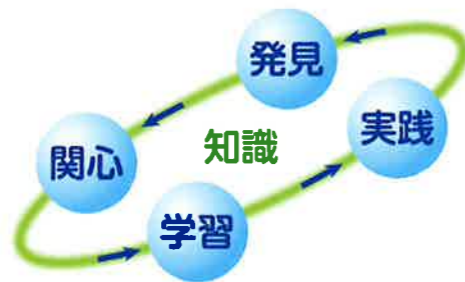


## 持続可能な社会の構築に向けた“人”の育成をめざして

地球環境問題は、廃棄物、地球温暖化をはじめ、一人ひとりのライフスタイル(衣食住)、歴史や文化などの背景が関係しており、複雑かつ多様です。

この問題を解決していくためには、私たち一人ひとりが、環境問題に対する知識・能力を習得するにとどまらず、問題解決に向け行動していくことが必要です。

津山圏域クリーンセンターは、「緑に囲まれた、憩いと潤いの感じられる県北の地域環境保全の総合センター」を基本理念としています。持続可能な社会の構築に向け、体験を通じた学びを支援し、自ら考え行動できる人の育成を目指した環境学習を提供します。



## 環境学習の流れとねらい

下記は小学4年生用のプログラムです。

リサイクルプラザの環境学習は、ごみを入口に、地球のこと未来のことを「考え、そして行動」へと発展させています。実際のごみ処理の現場を見学していただき、その中でさまざまな環境問題に「気づき」、そして、その後のレクチャーの中で、自分自身ができることを「発見」し、学校や家庭での「行動」へとつなげることをねらいとします。

### 津山圏域クリーンセンター 気づき・学び

#### 関心

##### 学校での事前学習

DVD鑑賞(15分)  
リサイクルプラザからDVDをお貸しします。「ここはどうなっているのかな?」「こんな質問をしてみたいな」など、事前に学校で興味を持ったこと、質問などをまとめてください。



#### 体験

##### クリーンセンター見学 45分

熱回収施設とリサイクル施設をご案内します。  
●自分たちが出したごみがどのように処理されていくのか実際に見学します。  
●働く人たちに着目したり、リサイクルの仕組みに着目したり、ごみを有効に利用している様子などを通して、子どもたちのさまざまな気づきを促します。



#### 質問タイム 15分

学校での事前学習や、施設見学で感じた質問に答える時間です。ベテラン職員が丁寧にお答えします。

#### 学び 30分

わたしたちの生活が地球に負担をかけ、このままでは持続不可能な社会になってしまうこととお話しします。どうすれば解決できるのかを一緒に考えます。写真やクイズを使って分かりやすく進行します。



#### 自分事に 15分

地球のために、自分ができることを考えて葉っぱにメッセージを書きます。みんなに発表してもらい、地球にあたたかいメッセージを送ります。環境問題を解決できるのは自分の行動から始まることを感じていただきます。

#### 決意を形に 15分

書いたメッセージの葉っぱを、メッセージの木に貼り付け、決意を表明します。来場された他の方にも見えていただけるようにしています。

#### 行動へ

##### 事後学習

学んだことを行動に移すための学習をお願いします。行動することが一番大切です。  
※必要があれば、事後学習の際に出前授業を行うこともできます。

持続可能な社会をつかっていくのは、誰かがしてくれるのではなく、自分から行動する意識をもつことが必要であることを理解し、具体的な行動につなげていくことを学びます。

## 津山圏域クリーンセンター 見学の流れ 45分

リサイクル施設と熱回収施設を見学し、可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみが安全に処理されている様子を知ることができます。また、資源循環学習ホールでは、ごみを通して環境問題を知り、持続可能な社会をつくるにはどうしたらいいか学習します。

### リサイクル施設 15分

不燃ごみや粗大ごみを破碎して、資源を回収する施設や、缶類やペットボトル、ビン類、プラスチック容器包装などの資源ごみとして回収されたものを手選別したり、機械で選別する工程を見学できます。

粗大ごみ  
不燃ごみ

鉄・アルミ  
缶・ペットボトル  
プラスチック・びん

リサイ  
クル



### 熱回収施設 15分

わたしたちの生活から出る可燃ごみを焼却し、焼却時に出る熱を回収して電気をつくる施設です。ゴミの受入ピットやクレーンでゴミを投入するところが見学できます。

家庭ごみ

焼却

発電



### 資源循環学習ホール 15分

体験を通して学習ができるホールです。ごみ処理の歴史や環境にやさしい暮らしをクイズやレクチャーを通して学ぶことができ、また、持てるかなのコーナーでは、ペットボトルや缶をプレスしたものを持ちあげる体験ができます。



#### ごみの歴史を学ぶ

縄文時代から現代までの日本のごみ処理の移り変わりが学べます。

#### 環境にやさしい暮らし

環境にやさしい暮らしはごみを少なくすることにつながります。ここではクイズ形式でゴミを減らす工夫を考えることができます。

#### 環境のマークを学ぶ

私たちの周りには環境に関するマークがいっぱい。どのマークがどの製品に付けられているのかを学べます。

#### 持てるかな?のコーナー

缶やペットボトルをプレスしたものを持ちあげる体験ができます。暮らしの中で多くの資源が使われていることを実感することができます。

#### 持続可能な社会を学ぶ

地球にやさしい暮らしが、持続可能な社会につながることを学べます。